

財団法人田口福寿会による「企業の森」への支援

<岐阜県>

1. 市町村・集落の名称	大垣市上石津町(多良峡森林公園)
2. 協働の相手(企業や大学等)の名称	財団法人 田口福寿会 本部：岐阜県大垣市
3. 仲介者・コーディネーターの名称	岐阜県
4. 協働のポイント	岐阜県が仲介者となり、企業と市が協働で森林整備に取り組む。企業と市のパートナーシップがスムーズに行なわれ、7年間という長期にわたって連携が保たれる。
5. 協働のきっかけ・経緯	<p>岐阜県では、平成18年5月に「岐阜県森林づくり基本条例」を制定し、県・市町村・県民が一体となって森林づくりを推進していくこととした。平成19年4月から企業との協働による森林づくりとして「企業の森」事業の取り組みがスタートした。</p> <p>平成19年8月に岐阜県が主催した「企業の森説明会」に大垣市が参加し、事業の検討を行なった。その後、岐阜県の仲介により、(財)田口福寿会との取り組みの検討が進められた。</p> <p>平成20年2月25日、大垣市、(財)田口福寿会、岐阜県との間で森林づくりの協定を締結し、事業が始まった。</p>
6. 取組の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)田口福寿会が平成20年度から26年度の7年間で総額1,500万円の資金を提供。 ・大垣市は、その資金により多良峡森林公園において、スギ・ヒノキの間伐、下刈り・除伐などの森林を整備(協定面積18ha)。 ・「日本一のモミジ名所づくりプロジェクト」として、地域住民が主体となったモミジ植樹活動を実施。平成20年11月22日に、企業の社員と市民が参加し、第1回の植樹イベントを実施。
7. 農村地域への効果	<p>地元の「多良峡もみじの名所づくり実行委員会」が、「日本一のモミジ名所づくりプロジェクト」を進めており、今回の協定締結により、長期にわたって継続的に森林整備が進められることになったため、さらに、多くの地域住民が関わることになり、地域の連帯感が増すなど充実した活動になっている。</p>

8. 都市部の主体（企業や大学等）への効果	企業が森林整備に主体的に取り組み、植樹活動をとおして企業の社員と市民が地域交流を行うことで、社会貢献活動として大きな評価を得られる。
9. 仲介者等の役割	岐阜県が推進する「企業との協働による森林づくり」協定が岐阜県内で6箇所認定され、さらに認定が進められている（平成20年11月末現在）。県が主導して事業を推進しており、他地区の情報提供やアドバイスを積極的に行なっている。
10. 今後の課題	他地区との連携や情報交換を進める必要がある。 継続した活動にすることが重要であり、独自の特色を出して、魅力ある事業にしていく必要がある。
11. 関連事業（国・都道府県等）	岐阜県では、「岐阜県地球環境保全のための森林づくり条例」（施行日平成20年7月15日）を制定し、事業者の森林づくり活動の促進と地球温暖化防止への取り組みをさらに推進している。